

2008 年度

科目名 比較文化論 B	対象学科・学年 人間人社3回生	担当者 村尾 敏彦
授業テーマ 様々な文化の比較から、自らの文化の不透明性へ		
授業の概要と目標 空気を肺から出し入れするように、私たちは意識しないままに、文化を呼吸しています。空気が無色透明であるように、自分が生まれ育った文化圏の中身を、私たちは当然のものと思い込んでいます。ところが、異なる文化に出会うと、自分たちの生き方が唯一可能な形態とは思えなくなります。もしかしたら、人類は、人間にはどのような生き方が可能なのか、夥しい数の異なる文化を世界中に生み出すという形で、壮大な実験を行っているのかもしれない。現在の日本社会の文化も、ひとつの可能性にはかならないのかもしれない。		
評価方法 授業中に課題を出す。		
テキスト 必要に応じてプリントを配布する。	著者	出版社
参考書 必要があれば、その都度授業中に指示する	著者	出版社
授業スケジュール・内容 1. ヨーロッパとは？ 2. 「モンティ・パイソン」と「ルーシーショー」 3. 舞踊「鷺娘」とバレエ「ジゼル」 4. 古代地中海文化と古代ケルト文化 5. 映画「ベンハー」——古代キリスト教文化とアイルランドのドルイド教 6. 映画「ブレイブ・ハート」——スコットランドとイングランド 7. 映画「エリザベス」——英国エリザベス朝 カトリックとプロテスタント 8. 映画「恋するシェイクスピア」——英国エリザベス朝演劇 9. 映画「クромウェル」——英国王権と議会制民主主義 10. 大英帝国と植民地アイルランド 11. 映画「緋文字」——大英帝国のアメリカ植民 12. 大航海時代のアイルランドとイングランド 13. アイルランド内部の文化の二重性 14. アイルランドの独立 15. 映画「ボクサー」——北アイルランド問題		